千葉市中央区町内自治会連絡協議会

三　　役　　会

日時：令和元年９月２５日（水）

午前９時００分～

場所：きぼーる１１階大会議室

千葉市中央区町内自治会連絡協議会

「三　役　会」次第

日　時：令和元年９月２５日（水）
午前９時００分～
場　所：きぼーる１１階大会議室

１　会長挨拶

２　議　　　題

（１）令和元年度要望事項の回答（区連協要望、市政相談）について
（２）活動研修会について
（３）その他

議題（1）　令和元年度要望事項の回答（区連協要望・市政相談）について

令和元年度　千葉市中央区町内自治会連絡協議会要望事項回答一覧（区連協要望）

No.	地区	要望件名（※：継続要望）・要望要旨	担当部局部課	要望事項に対する回答
1	第４地区 第５地区	**モノレール駅名変更「葭川公園」を「中央公園」へ　※** 平成２８年に中央区のにぎわいを担っていた千葉パルコが、また２９年に千葉県、千葉市の高級消費のシンボルであった三越千葉店が営業停止、閉鎖され、千葉銀座、富士見などの千葉市の中心商店街の灯がさらに暗くなった。一方、平成３０年JR千葉駅の改築と駅ビル内の店舗街が話題をよび、乗降客以外の近隣住民も「エキナカ」へ押し寄せている。 千葉市の中心街の再興のためには、中心街への交通アクセスが生死を握っている。路線バスや平成２９年にスタートしたC－bus（シー・バス）もあるが、重要なのは千葉市のモノレールの活用である。千葉駅ビルの改装によりJR駅からモノレール駅に直接つながる通路ができたが、最低料金が２００円ということもあって利用客は伸びていないのが現状である。まず中心商店街へモノレールが便利であるというアピールが欠けている現状を変えなければならない。 千葉銀座や富士見などの中心街の近接モノレール駅は「葭川公園」であるが、読みの難しさや知名度の低さから、どこにあるか知らない市民が大半である。一方、すぐそばの「中央公園」はさまざまなイベントが催され、商店街や文化センター、市美術館などの文化施設にも近く、市民の集いの中心になっているが、その近接モノレール駅がわかりにくく知られていない。 以上のことからモノレール駅名を「葭川公園」から「中央公園」に変更することを要望する。また、この駅が中央公園、美術館、区役所（きぼーる）のアクセスの駅であることを千葉駅や葭川公園駅内に表示することを要望する。	都市局 都市部 交通政策課	「葭川公園」という駅名については、開業前の平成１０年に市民から応募された案に基づき、学識経験者、市議会議員、関係機関団体及び地域の代表者により組織された千葉市都市総合交通対策協議会にて選考されています。 また、駅名を変更する場合、関東一円等で利用されているＩＣカード（パスモ事業者）のシステム変更をはじめ、各駅の料金表などの看板や券売機の印字の変更、さらにはアナウンス設備の変更などが必要となり、これらの変更には多額の費用が見込まれるため、モノレール会社の経営状況からも、駅名を変更することは困難と考えております。 葭川公園をはじめモノレール各駅の駅名は、会社やイベントなどの最寄駅等として案内されているなど、既に利用者の皆様に定着しているものと認識しておりますので、駅名を変更することは各種企業への負担や、利用者の混乱を招く恐れもあります。 なお、今年度からの新たな取り組みとしては、葭川公園駅と千葉みなと駅から命名したキャラクター鉄道むすめ「葭川となみ」をデビューさせ普及活動にも努めております。 葭川公園駅が中央公園等のアクセスの駅であることを千葉駅や葭川公園駅内に表示することにつきましては、「葭川となみ」デビューにあわせて「当駅（葭川公園駅）は中央公園の最寄駅です」と記載されたポスターを葭川公園駅に貼付しており、今後出口案内等への対応も予定しております。 今後も、より一層、モノレール会社との連携を図り、モノレールの利用促進に努めて参ります。
2	第５地区	**京成西登戸・新千葉駅利便性改善に市の協力を　※** 京成西登戸駅、新千葉駅は登戸、汐見・春日、新千葉地区の住民が千葉や東京方面に出る際の重要な交通機関ですが、約４０年前のホーム延長に伴う改築以来、千葉方面に出る場合、改札口から高い跨線橋を渡って反対側ホームに行かなければなりません。このため高齢者、車いす使用者や障害者、ベビーカー使用の幼児の家族などには大変不便で、かなりの人たちが利用を諦めているのが現状です。私達は平成１７年から１３年間、毎年千葉市長や京成本社などにこの状況の改善を訴え、要望書を提出し、簡易改札口の新設などを提案し交渉をしてきました。平成２４年には住民の皆様やこの駅を利用する方々の約６，８００名の署名を集めました。 平成２７年４月、千葉市として京成電鉄の経営統括部に善処を申し入れた際に、鉄道本部計画管理部課長から、国の基準の一日乗降客３，０００人以下の駅に関しては京成としてバリア改善する計画はない。地元の改善要望が強い駅は「請願駅」（新設）と同等と考えているという回答がありました。私達は国の基準のバリア改善を要望しているわけではなく、利便性改善のための千葉行き側のホームの簡易改札の設置を永年求めています。 西登戸駅の利用客は昨年（２０１８年）平均１日約２，７００名となり、また新千葉駅もＪＲ千葉駅の改築や西口地区の再開発などで利用者は増えています。２０２０年にはオリンピックパラリンピックが千葉市でも行われ、世界の障害者アスリートや関係者、観客が京成駅を利用することも増えます。 平成３０年５月、京成本社で幹部と面会し、常務・鉄道本部長から本年度施行される「高齢者、障害者等の移動等の円滑化促進の法改正」に合わせて地元のバリアフリーのまちづくり計画と連携して進めたいという前向きな回答が得られました。 千葉市の支援と協力を求めます。	都市局 都市部 交通政策課	駅の改札口については、京成電鉄では原則１駅１改札口としておりますが、西登戸駅・新千葉駅の現在の駅利用状況等を踏まえて、利便性向上に資する施設として京成電鉄に働きかけていくとともに、駅のバリアフリー化の推進にあわせて京成電鉄と協議してまいります。 なお、鉄道駅のバリアフリー化につきまして、本市では「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（平成18年法律第91号）に基づき制定された「移動等円滑化の促進に関する基本方針」により、原則として1日当たり平均利用者数3,000人以上の鉄軌道駅を対象に鉄道事業者のバリアフリー化に関する施設整備の実施に対し、国と共に補助を行うなど、継続的にバリアフリー化を促進しております。

No.	地　区	要望件名（※：継続要望）・要望要旨	担当部局部課	要望事項に対する回答
3	第１３地区	**都市計画道路の早期着工・完成について「仁戸名町～古市場町線」　※** 日頃から当地域の環境保全と環境整備に深いご理解と格別のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。 表題のことにつきまして、平成６年度・８年度・更に平成１２年度と要望書を提出し２５年の歳月を迎えますが着工の兆が見えないため、昨年（平成３０年度）に再度要望書を提出いたしました。 回答によりますと、平成２７年度に都市計画道路の見直しと、平成３０年度からは３か年の第３次実施計画により、事業効果の早期発現から着手路線の完成を優先して進めているとのことですが、下記の理由により要望を組み入れて頂きたく、今年度も、継続し要望いたします。 【明徳高校前より生実台セブンイレブン間の早期着工を切にお願い申し上げます。 この完成により、地域の環状道路として利用でき、通学路の安全も確保され、特に、現状の急な坂をのぼるバス路線が変わることによって、大変危険となっている道路状況が改善されることになりますので、何卒ご配慮賜りたく、優先順位の打上と早期着工、完成を要望いたします。】	建設局 道路部 道路計画課	平成３０年度から３か年間の第３次実施計画では、事業効果の早期発現の観点から、現在着手している路線の完成を優先して進めているところであり、新規路線となる「生実町古市場町線」（平成２７年度の都市計画道路の見直しにより、「仁戸名町古市場町線」から変更）の早期事業化は難しい状況です。 本路線を含む未整備の都市計画道路につきましては、整備中路線の進捗状況を見極めながら、優先度を考慮した上で事業化を検討してまいります。
4	第１５地区	**マンホールトイレ設置の要望** 昨年の政府地震調査委員会の発表によりますと、千葉市は今後３０年以内に震度６弱以上の地震発生確率が８５％と高率だと言われています。 東日本大震災では、地震発生から３時間以内に３割の方がトイレに行きたくなったとの報告もあります。ところが、避難場所・避難所における水洗トイレがすぐに使用ができなくなります。しかし震災後、仮設トイレの設備が避難所に設置されるのに数日かかるとの見通しも聞くところです。 そのことから、マンホールトイレの設置についてご協力をお願いしたいと思います。具体的には、マンホールトイレを県立高校等含むすべての指定緊急避難場所・指定避難所や町会事務所等に備えること、及び、その使い方の教育等ということになるかと思います。	総務局 防災対策課	災害用のマンホールトイレについては、市内の指定避難所のうち、水源を確保できる市立学校を優先し、令和５年度末までに市内の全市立学校への整備が完了することを目標に事業を進めているところであり、平成３０年度末時点で、計６８校への設置が完了しております。 現状、市立学校以外の指定避難所に対する具体的な整備計画は立っておりませんが、マンホールトイレが設置されていない指定避難所については、各避難所に備蓄してある簡易トイレ及び携帯トイレを使用することを想定しております。 なお、マンホールトイレの使い方の教育等については、必要に応じて各区地域振興課から避難所運営委員会など市民の皆様へ説明会等の対応しているほか、毎年、避難所担当となった市職員向けの講習会を実施しております。
5	第１６地区	**都市計画道路「加曽利町大森町線」の早期整備について　※** 第１６地区連協の区域内である京成大森台駅付近を起点とし、大網街道までの「加曽利町大森町線」の整備に伴い、大森台駅の駅前広場やロータリーの整備も含まれると思うが、駅前広場から駅改札口までの動線についてバリアフリーに配慮して整備するようお願いし、また同時にエレベーターの設置についても同時に整備できるように京成電鉄と協議を行うこと。また、坂道の頂上付近となる喜久屋酒店前交差点（中央区仁戸名町６０１番地１６地先）への信号設置について、道路整備と同時にできるよう中央警察署との協議を行うこと。 松ケ丘小学校の東側擁壁を改修し付近の歩道についても十分に幅員を確保するよう計画すること。 従来より要望している、松ケ丘小学校東側の中央区松ケ丘町５５２番地付近から中央区仁戸名町５３２番地先の大網街道までの区間の拡幅についても早急に実現されますよう要望いたします。	都市局 都市部 交通政策課	駅施設のエレベーター設置について、本市では「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（平成18年法律第91号）および同法に基づき制定された「移動等円滑化の促進に関する基本方針」により、原則として1日当たり平均利用者数3,000人以上の鉄軌道駅を対象に、各鉄道事業者のバリアフリー化に関する施設整備の実施に対して補助を行い、バリアフリー化を促進しております。 大森台駅は平成30年度の1日当たり平均利用者数が2,885人と、基準には達しておりませんが、利用者数は微増ながら年々増えており、また継続的に地元の皆様からも要望等をお寄せいただいております。 このため、利用者数3,000人を目途として、バリアフリー化を早期に実現できるよう、京成電鉄と協議してまいります。
			建設局 道路部 道路計画課 ・ 街路建設課	現在、ご要望の加曽利町大森町線と連絡する南町宮崎町線（京葉道路の大森橋から宮崎町の青葉の森通りまでの区間）について、早期完成に向け、整備を進めているところであります。 加曽利町大森町線の京成大森台駅付近から大網街道までの区間につきましては、南町宮崎町線の事業完了後、事業化を目指していきたいと考えております。 また、大森台駅の駅前広場から改札口までのバリアフリーへの配慮や、喜久屋酒店前交差点への信号機設置につきましては、事業化の際に検討をすすめてまいります。

No.	地区	要望件名（※：継続要望）・要望要旨	担当部局部課	要望事項に対する回答
6	第１６地区	**仁戸名町３１・４５号線の歩道整備について　※** 　仁戸名小学校の通学路にあたる、「皐月縫製前」（中央区仁戸名町２８５番地１５地先）より「わたなべ整形外科」（中央区仁戸名町９４番地４地先）付近までの区間は、仁戸名小学校へ通学する児童の通学路であるが、バス路線でもあり、通行量が大変多いにもかかわらず、歩道整備が完了していない。 　当該場所は、道路幅員も狭くなっており交通事故の危険性は大である。通学路として使用する子供たちが安全・安心に通えるように、早急に歩道を整備されますよう要望いたします。	建設局 道路部 道路建設課	要望箇所については、今年度、皐月縫製前交差点から仁戸名町４０号線交差点までの約２００ｍ区間の歩道整備を予定しております。 　残りの区間につきましても、引き続き、土地所有者と用地交渉を行い、歩道整備に取り組んで参ります。

令和元年度　千葉市中央区町内自治会連絡協議会要望事項回答一覧（市政相談）

No.	地区	要望件名（※：継続要望）・要望要旨	担当部局部課	要望事項に対する回答
1	第９地区	**市道大厳寺５０号線等の安全対策について** 市道仁戸名１１５号線と大網街道の交差点から、市道大厳寺５０号線を通り、花輪町１６６番地付近の交差点を経て、大森町２５番地付近の信号機のある交差点に至る道路（以下当該道路と言う）は、大網街道との交差点改良工事後、大網街道混雑の抜け道として交通量が急増しています。 西福寺下の交差点で、当該道路に出入りする車の数を見てみると、５年前までは全体の１割程度だったものが、現状は５割又はそれ以上と推定されます。しかも主道路の大厳寺・赤井方面に出入りする車が減ったわけではなく、比率が大きく変動した分、新規に通行する車の数が増加したものと考えられます。 当該道路は途中何か所も大きくカーブしているうえ、道路の幅が４ｍからその倍以上と激しく変化しており、極めて危険性の高い道路でもあります。その為事故も急増しており、この２年間で花輪町１６６番地付近の交差点だけでも、人身事故で車両火災も起こした大事故が２件、物損程度の事故が５件発生しています。 また当該道路の２／３ほどは大厳寺小学校の通学路になっており、更に花輪町１６６番地付近で７０戸ほどの宅地開発が行われ、子どもの数が急増しており、子ども達を交通事故から守ることも急務となっています。 その為、交通安全施設の拡充や道路の拡幅等が必要と考えられますが、効果的な改善を行うために、大網街道との交差点改良工事時（商業施設建設時）に行った交通量調査と比較して検討することが重要と考えられます。そこでまず現状の当該道路の交通量調査・実態調査を早急に実施することを強く要望します。	建設局道路部 道路計画課 ／ 建設局土木部 中央・美浜 土木事務所 維持建設課	大森町２５番地先（西福寺下）の交差点について、千葉県警の行う信号のスクランブル化、道路の一方通行化に合わせ、交通安全対策として路面標示や車止めの設置を検討してまいります。 花輪町１６６番地先の交差点について、交通安全対策として路面標示の追加及び通学路における路肩のカラー化（緑）を実施しました。 今後も交通状況を注視し、必要に応じ交通安全施設の設置を行ってまいります。 なお、道路の拡幅につきましては、事業効果の早期発現の観点から、着手している事業を優先して進めているところであり、早期事業化は困難な状況でありますが、整備の必要性について検討するため、現地調査等を行ってまいります。
2	第９地区	**押しボタン式信号機の待ち時間の短縮化について** 蘇我中学校入口の交差点から大厳寺町公園に向かう途中の白旗グリーンベルトの信号機は、ボタンを押してから青に変わるまでの時間が非常に長くかかります。そのため、信号が青に変わるのを待てず、歩行者は車の来ないことを確認すると横断してしまいます。 また、一方で、歩行者がボタンを押すも赤のまま横断してしまうと、その後、歩行者がいないにもかかわらず、車両側の信号が赤に変わり、車は止まらざるを得ません。 安全面を考慮し、多少の待ち時間は必要と考えますが、当該信号機はあまりにも待ち時間が長いと思われます。この理由として、周囲の信号と連動しているためとは聞いていますが、常に2分以上待たされます。 そこで、現状をご確認いただき、当該信号機の待ち時間の短縮化について、連動の必要性（国道との交差点の信号と切り離せないか）を含めて検討・実施することを要望します。	市民局 市民自治推進部 地域安全課	同所の信号機は、現在グリーンベルト側が、車両感応式・歩行者押しボタン式となっているところを、周辺の信号機と連動させて、車両感応式・歩行者押しボタン式を撤廃して、定周期で信号を運用させることとしています。
3	第９地区	**大網里道踏切歩道の改修のお願い** ＪＲ内房線、京葉臨海鉄道にある上記踏切の歩道が枕木を使った木製の歩道で凸凹が有り、車椅子、シルバーカー、ベビーカーの通行に支障が有ります。また児童の通学路でもあり、児童が足を挟まれた事も有ります。早急の改修をお願いします。	建設局 道路部 道路計画課	当該踏切の歩道が枕木の凸凹により通行に支障をきたしている件につきまして、管理者のＪＲ東日本に、改善を依頼いたしました。 なお、ＪＲ東日本からは、通行に支障が生じないよう、段差のすりつけやガタツキ箇所の固定など補修する旨の回答を受けております。

№	地　区	要望件名（※：継続要望）・要望要旨	担当部局部課	要望事項に対する回答
4	第１３地区	**村田町１９号線上の生浜踏切の拡幅及び前後道路の整備について** 村田町１９号線整備計画（平成３１年２月街路建設課）によると、同踏切は地域の事情等から緊急に改良を要する「地域課題踏切」に、また１９号線は村田町のメインストリートつまり地域住民の生活道路として重要な道路として位置づけられている。 しかし、同整備計画によればその改良には今後１０年を要するとのことであり、同道路の地域における重要性及び安全の確保といった観点から考えたとき、できるだけ早急に改良が必要であると考える。よって、以上のことから同整備計画に先立てて、同踏切の拡幅及びその前後道路の整備を要望するものである。	建設局 道路部 道路計画課 ／ 街路建設課	生浜踏切を含む村田町１９号線は、道幅が狭く、車両の円滑な通行が確保されていない状況であることから、現在、神明神社から旧道（千葉鴨川線）までの区間の拡幅整備を進めているところであり、これまで、神明神社側の一部区間の整備が完了しております。 今後、残る未整備区間について、道幅が狭い箇所など緊急性の高い箇所から順に、測量や設計を実施し、次年度以降事業用地の取得を開始する予定としております。 なお、事業区間内にある生浜踏切につきましては、鉄道事業者が施工者となることから、早期整備ができるよう、ＪＲ東日本と調整してまいります。
5	第１６地区	**仁戸名町１２号線の道路狭窄標示（注意喚起）について** 仁戸名町１２号線の始点付近（中央区仁戸名町３５８番地）は大網街道との交差地点は、階段になっており車両の通行が不可能な個所であり、私道を通行すれば、大網街道への通行は可能ではありますが、当該道路の幅員は２．５ｍ程度の個所もあり地域住民以外の車両が進入すると、車両の通行に障害が発生しています。通行規制注意喚起（この先通り抜けできません等）の看板を表示する事により安全に通行できると考えますので、看板等の整備をされますよう要望いたします。	建設局土木部 中央・美浜 土木事務所 維持建設課	道路の幅員が狭くなる手前（仁戸名町３５４番地付近）に注意喚起の看板「この先通り抜けできません」を設置してまいります。
6	第２７地区	**松ケ丘坂下公園　側道の拡張** 松ケ丘坂下公園の西側の道路は車１台通るのがやっとで両サイド壁と１ｍ以上の土手で囲まれている為見通しが悪く、防犯上危険である。 近年近くで火災があったことから、消防車が走行出来ず、消火活動に支障がないか心配している。 元々公園の範囲と道路の範囲が土手の中心で仕切られていることから道路を拡張し公園との境目を整備してほしい。	建設局土木部 中央・美浜 土木事務所 維持建設課	当該道路の利用状況を鑑みると、早期に全線の道路整備は出来ませんが、今後利用状況を見ながら部分的な整備について検討してまいります。

議題（２）活動研修会について

1　趣　　旨
町内自治活動に直接関連する諸活動の状況、施設等を視察することにより、地域社会の発展と町内自治会の交流及び親睦を深めることを目的に、区連絡協議会による活動研修会を実施する。

2　予 算 額
５０２，０００円（通常総会で承認済み）
※参加者負担金（１人あたり２，０００円を含む。）

3　実 施 日
令和元年１１月２２日（金）

4　参 加 人 数
７６人（１地区連協当たり６人、事務局職員４人）

5　視 察 地 等
（１）見学場所候補地
①東京消防庁本所都民防災教育センター（本所防災館）（所要時間：約１０５分）
…防災シアター・地震体験・煙体験・都市型水害体験・暴風雨体験
東京都墨田区横川４－６－６
②東京都庭園美術館（所要時間：約９０分）
…本館（旧朝香宮邸）・新館（展覧会：『アジアのイメージ　日本美術の「東洋憧憬」』）・庭園
東京都港区白金台５－２１－９
（２）昼食場所
楠公レストハウス（東京都千代田区皇居外苑１－１）

6　行　　程（案）
千葉（ＮＴＴ前）－見学場所（①）－　昼食　－見学場所（②）－千葉（ＮＴＴ前）
※１号車・２号車共通です。

7　経 費 の 概 算

項　目	金　額（円）	備　　考
バ　ス　代	２２６，８００	バス２台分
保　険　料	３，８００	50円×76人
昼　食　代	１５２，０００	2,000円×76人
車内飲食物代	５３，２００	700円×76人
その他雑費	６６，２００	
計	５０２，０００	

8　参加者負担金（予定）
５０２，０００円　－　３５０，０００円　＝　１５２，０００円
１５２，０００円　÷　７６人　＝　２，０００円（前年度同額としたい。）